

2.経営比率分析 (3)安全性分析

【発展会計月次レポート】
提供：A S P 会計事務所

平成18年5月

安全性分析

バランスのとれた安定した経営が行われているかどうか、企業を取り巻く経営環境が変化しても耐える力がどの位あるかをみる
企業の財政状態の良否、支払能力の程度を見ているもの

安全性をみるために確認する指標

分析指標	算式	利用目的
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	短期的負債の支払いをカバーできる運転資金状態をみる
当座比率	$\frac{\text{当座資産}}{\text{流動負債}}$	短期的な負債に対する直接支払能力をみる
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}}$	自己資本に対する固定資産の割合状況をみる
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債}}$	固定資産に対する調達源泉が適正かみる
自己資本比率	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$	投下資本に対する自己資本の割合をみる

業界平均値との比較

経営指標	当期累計	業界平均	ランク
流動比率	550.6%	138.4%	A
当座比率	523.5%	115.7%	A
固定比率	1776.6%	133.7%	A
固定長期適合率	169.0%	84.0%	A
自己資本比率	2.8%	8.7%	A

ランク： A=優良 B=普通 C=低い

業界優良企業との比較

経営指標	優良企業	差異	ランク
流動比率	187.8%	362.8%	A
当座比率	154.5%	369.0%	A
固定比率	152.5%	1624.1%	A
固定長期適合率	69.3%	99.7%	A
自己資本比率	18.9%	-16.1%	A

ランク： A=優良 B=普通 C=低い